

【平成 20 年 2 月期 中間決算説明会 報告骨子】

席上配布資料「平成 20 年 2 月期 中間決算説明会資料」とともにご覧ください。

1. 平成 20 年 2 月期 中間決算の総括（資料 P 1）

- ・ 機械部門 …国内は前年同期並み。ベクター社は期初来、順調に売上伸長。
⇒連結売上高 36 億 72 百万円（前年同期比 18.4%増）
国内受注の勢いに支えられ、連結受注高は 53 億 20 百万円、中間期末連結受注残高は 58 億 25 百万円となり過去最高を記録。
- ・ 化成品部門…医薬品添加剤・食品品質保持剤の業績は堅調に推移。V P S 社は、2006 年下半年期より黒字基調に転換。
⇒連結売上高 22 億 16 百万円（前年同期比 8.1%増）

2. 中間連結損益計算書（資料 P 2）

- ・ 売上高 : 5,880 百万円（期初予想 : 5,200 百万円）
- ・ 経常利益 : 464 百万円（ 同上 : 320 百万円）
- ・ 中間純利益 : 281 百万円（ 同上 : 200 百万円）

3. 中間連結貸借対照表（資料 P 3）

- ・ 流動資産 : 7,073 百万円（19 年 2 月末比 +713 百万円）
前受金の増加と下記固定資産処分などにより現金及び預金は増加
 - ・ 固定資産 : 4,039 百万円（19 年 2 月末比 ▲138 百万円）
払済み事業保険積立金を一部解約、事業活動に寄与しない宅地処分
 - ・ 総資産 : 11,113 百万円（19 年 2 月末比 +574 百万円）
- 《「のれん」についての補足説明》
無形固定資産の「のれん(旧・連結調整勘定)」は 20 年 2 月期を以って償却完了
固定負債の「負ののれん」は、今後 10 年間に分割し営業外収益として償却予定

4. 連結売上高の推移（資料 P 4）

(1) 中間連結売上高

- ・ 機械部門 …3,672 百万円（前年同期比+572 百万円）
- ・ 化成品部門…2,216 百万円（前年同期比+166 百万円）

(2) 通期連結売上高の予想

- ・ 機械部門 …8,040 百万円（前年同期比+906 百万円）
- ・ 化成品部門…4,460 百万円（前年同期比+ 55 百万円）

5. 機械部門の受注高・期末受注残高（資料 P 5）

(1) フロイント産業

中間実績 : 受注高 3,644 百万円（前年同期比+218 百万円）

通期予想 : 受注高 5,600 百万円（前年同期比+272 百万円）

⇒引渡基準を採用している機械装置類は、計画どおり製造しても工場の建屋竣工が遅れば、据え付け、試運転が遅れることから、物件の引渡し時期が不透明であると判断し、期初計画どおり推移するものと予想。

(2) ベクター社

中間実績：受注高 \$11,398 千（前年同期比▲\$4,364 千）

通期予想：受注高 \$23,700 千（前年同期比▲\$3,838 千）

⇒期末受注残高予想は \$10,000 千（前期末比▲1,639 百万円）

受注の勢いに一服感はあるものの、引き続き高水準で推移の見通し

6. 平成 20 年 2 月期 通期業績予想（資料 P 6～P 7）

(1) 連結業績予想

・売上高 : 12,500 百万円

⇒ベクター社は 4 期連続で記録更新を予想

V P S 社は初めて \$4,000 千の大台を予想

・経常利益 : 900 百万円

・当期純利益 : 550 百万円

(2) 単独業績予想

・売上高 : 9,200 百万円

・経常利益 : 700 百万円

・当期純利益 : 400 百万円

第 3 次中期経営計画の最終年度を迎えている。計数目標として掲げている、

・連結売上高 : 125 億円

・連結営業利益 : 10 億円以上（連結営業利益率 8%以上）

・連結当期利益 : 6 億円

の達成に向け、全力を注ぎたい。

以 上